

教員各位

学 長
(公印省略)

学内における研究発表行為に対する守秘義務誓約書等の提出のお願い（通知）

日頃より研究の成果である知的財産の創出にご尽力頂き、感謝申し上げます。

さて、先生方におかれましては、学生の卒論等の発表に向けた準備に多忙な時期となりましたが、学内のいかなる研究発表会においても、特許出願の可能性のある研究内容については、当該発表会出席者全員に「守秘義務誓約書（別紙2）」を提出いただくようお願い申し上げます。

例年、特許出願を予定している発明の内容が、その出願前に、論文に掲載されたり、学会で発表されてしまったために、研究成果を権利化することが困難になる事例が多数見受けられます。

これは、研究成果の正当な権利化や大学、研究者に当然付与されるべき権利を失することにもなります。

特許法は、発明者自身の行為であっても、出願前に公開され、守秘義務を課されていない第三者が知り得る状態になった発明については、「新規性」が失われたとして、公知の発明であることを理由に、特許の取得を認めておりません。また日本国の特許法では、第30条の新規性喪失の例外措置を受けることで、出願前に公知となった発明によって拒絶されないように救済を受けることが可能ですが、諸外国では、ごく一部の国を除いて、このような例外措置を受けることができませんので、研究成果の権利化上、公開行為が妨げになることがあります。

しかし、例えば、学部卒論、中間発表などの学部・学科内での出席者にしか公開されない研究発表等では、その出席者全員に、発表内容に対して守秘義務を課すことにより、その研究発表時の公開行為に限っては、発表内容は公知になったとはみなされず、新規性が失われることを回避できます。そのため、第30条の新規性喪失の例外措置を受ける必要がなく、また、外国における権利化の妨げにもなりません（但し、その研究発表の内容が、例えば、インターネットなどを通じて、研究発表時または研究発表後に、出席者以外の第三者も閲覧できるようにした公開行為までは、含まれません。）。

ついては、研究成果の発表に伴い発明の新規性が失われることのないよう、以下のようにご対応願います。

1 発表前に特許出願する（これが原則です）。

発明等届出書（別紙1）は、望ましくは発表の2ヶ月前までには提出下さいますようお願いいたします。

2 学内でのいかなる研究発表会においても、特許出願の可能性のある研究内容については、「今回の発表には特許出願予定の内容が含まれているので発表内容を一切口外しないようにお願いします。」と宣言して、出席者全員から守秘義務誓約書（別紙2）を提出してもらう。又、関連する資料には「当該発表会外秘」等を記載し、必ず回収する。

発明届出書および守秘義務誓約書につきましては、下記担当までご提出ください。

本件担当
知創推進部 研究推進課
産学連携推進係
印南 ・ 平良（内線：8031）
chizai@acs.u-ryukyu.ac.jp



6. 共同出願の有無 ☐ 有 (有の場合いずれかにチェック) ☐ 外部機関等が全額負担 ☐ 持ち分に応じて負担
☐ 無

発明等の内容(2ページ以内)

1. 発明等に至る経緯

2. 1のうち、従来から知られている(公知の)発明部分

3. 1のうち新しい知見部分(権利化したい内容)

4. 当該発明の実用化(製品化)イメージ

5. 今後(直近)の研究予定

6. 本発明のキーワード(日本語と英語)

7. 従来技術との違い(先行文献・論文との違いを簡潔に記入)

※可能であれば文献等は直近のものを2〜3ご提示ください。

8. 添付資料の有無

☐ 有 ☐ 無

年 月 日

守秘義務誓約書

私は、下記の発表会に出席するにあたり、当該発表会にて開示された技術情報について、開示日から5年の間、第三者に公表しないことを誓約いたします。

記

1. 発表会名称：琉球大学〇学部〇〇学科〇〇科学専攻 第〇回卒業研究発表会
2. 開催日時：令和〇〇年〇〇月〇〇日
3. 場所：琉球大学〇〇研究棟第〇〇講義室（西原町字千原1番地）
4. 発表会主催者：琉球大学〇学部〇〇学科〇〇専攻
5. 守秘義務のある発表テーマ：

①発表名：

発表者：

②発表名：

発表者：

〔誓約者〕

所 属	学 生 番 号	氏 名

以上